種名	コ　ガ　モ Anas crecca
分類	ガンカモ目　ガンカモ科
特徴	尻の三角形の黄色が目立つ小形の淡水ガモ類。北半球北部で広く繁殖し、日本では主に冬鳥として渡来後、湖沼の全面結氷しない地方で越冬する。本州の山地と北海道では少数の個体が繁殖している。狩猟鳥。
生活	越冬地では湖沼、川などで生活し、市街地の公園の池にも多い、人家の庭の池にも飛来することがある。広い湖にいる時は、開けた水面に群れているよりは奥まった入り江の岸にいることが多い。水辺を歩きながら泥水をついばんだり、枯れ葉をしごいたりして、主にイネ科植物などの草の小さい実を食べる。
声	水面で群れている時には、オスは「ピリッピリッピリッ」という笛のような声で鳴いていることが多い。メスは時々、「グェーグェッグェッ」と鳴く。また警戒時には「クァックァッ」と鳴くという。飛翔中にも鳴くことがある。
見分け方	オスは色彩に特徴がある。メスはシマアジやトモエガモのメスにはよく似る。
時期	(月)　1　2　3　4　－　－　－　－　9　10　11　12
その他	全長 (L) ♂41cm♀34cm　翼開長 (W) 51～64cm
	参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥